

第3学年 道徳学習指導案

平成29年6月8日（木）第5校時

- 1 主題名 自分に誠実に生きる 内容項目 [A 自主、自律、自由と責任]
- 2 ねらい 自ら考え、判断して、誠実に実行する態度を育てる。
資料名 「僕は出ない エースの決断」(出典 「心つないで」 教育出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

「自主的に考え、判断する」とは、他人の保護や干渉にとらわれずに、善悪に関わる物事などについて幾つかの選択肢の中から自分で最終的に決めることである。中学生段階では、周囲を気にして他人の言動に左右されてしまうことも少なくない。結果、他人に責任を転嫁してしまったり、無責任な言動をとったりすることもある。自主的に考え、判断し、誠実に実行する大切さを知ること、深く考えずに多数派に付和雷同することなく、どのような小さな行為でも、自分で考え、自分の意思で決定したものであれば、その行為に対して責任をもつべきであるということに気づくことができる。

指導に当たっては、自ら考え、判断する基準となる多面的なものの見方や考え方を身に付けることの重要性に気づかせ、自分の行為の動機の純粋さにとどまらず、その行為が及ぼす影響や結果についても、深く考えられる心を育てたい。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

1年生では「嘘と誠実」を教材として、「誠実に生きようとする意欲」、2年生では「手紙～拝啓十五の君へ～」を教材として、「誠実な生き方を通して、理想の実現を目指してよりよい生き方をしていこうとする態度」を学習してきた。

3年生としては、自分がやらなくても誰かがやってくれるだろうという甘えがあったり、責任が自分一人にかかってくることを避けたりする傾向がある。その反面、部活動の最後の大会に向けて、「有終の美」を飾ろうと今まで以上に練習に意欲的に取り組んだり、目標に向かって気持ちを高めていこうとしたりする姿も多く見られる。

これからの進路決定に向けて、親の意見や友人に安易に流されることなく、自分に誠実に、どんなことを大切に思って決断すべきかを考える態度を育てたい。

(3) 資料の特質や活用方法について

本資料は、サッカー中越大会の「山口工業高校対明光学園」の決勝戦で、誤審により主人公の中田君が所属する山口工業高校が勝利し全国大会に出場することになるが、勝利したのは誤審によるものだと考えた中田君は深く悩み、最終的に「出場しない」という選択をするという内容である。

この資料を通して、自分の納得のいかない場面に遭遇したとき、主人公「中田君」の自分の中の「これだけは曲げられない」という信念を貫き通す姿勢や、決定の際に、どんなことを大切に思って決断するのかについて深く考えさせたい。そこで、導入では、まず誤審シーンを視聴させ、誤審はあり得ることであることを理解させる。併せて、自分の考えを貫き通した経験や、他人の意見によって流された経験を振り返らせ、なぜその

ようにしたのか理由を含めて聞くことで、主人公の心情に迫りたい。主発問としては、資料名にもある「僕は出ない」ことを決断した中田君は、どんなことを大切に思って決断したのかについて、深く考えさせていきたい。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	<p>1 ビデオ視聴する。 サッカー大会の誤審シーン (W杯最終予選 日本 vs UAE)</p> <p>2 「他人の意見や考えに流された経験はありますか？」のアンケート結果を知る。</p>	<p>・ある。→みんなと合わせた方がいいのかなあ。</p> <p>・ない。→自分で決めるべきだから。</p>	<p>・資料の内容に興味関心をもたせる。</p> <p>・誤審はあり得ることだと共感させる。</p> <p>・誤審シーンをイメージしやすくする。</p> <p>・行動を決定した理由は様々あることを理解させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>重要な決断をするときに大切にするのは、どんなことだろうか？</p> </div>			
展開	<p>3 資料を読んで話し合う (補助発問) 自分なら「出場する」「辞退する」のどちらを選ぶだろうか。</p> <p>(1) 中田君とチームメイトはどんな気持ちから、出場を辞退しようと思ったのだろうか。</p> <p>(2) どんな気持ちから出場しようと思ったのだろうか。</p>	<p>・ゴールは入っていた。勝ったのは相手チームなのだから出るべきじゃない。</p> <p>・フェアプレイが大切だ。</p> <p>・全国大会なのだから絶対に出たい。</p> <p>・応援してくれている人の気持ちを無駄にできない。</p> <p>・相手チームの分までがんばる。</p>	<p>・「出場する」「辞退する」の両方の立場の意見を聞くことで、物事を多面的、多角的に捉えられるようにする。</p> <p>・「辞退する」を決断した中田君とチームメイトの思いを理解させる。</p> <p>・「出場する」を決断したチームメイトの思いを理解させる。</p>

	<p>(補助発問)</p> <p>周りの仲間は、中田君をどう思っているのだろうか。</p> <p>(3)【北中シェアタイム】</p> <p>グループで話し合う。</p> <p>(出場して欲しかった)仲間は、中田君をなぜ「おまえはおまえだからな。」と認めたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思をもっていて格好いいなあ。 ・やっぱり一緒に大会に出たかったなあ。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・真剣に考えて判断した中田君を認めている。 ・自分が正しいと思って判断したことに対して責任をもつ中田君を認めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで出てきた意見と自分の考えを照らし合わせ考えの違いに気づかせる。 ・グループで出した意見を、簡潔にまとめさせる。 ☆中田君が、自分で考え、判断し、自分の中の曲げられない信念を貫き、誠実に実行したということが理解できたか。
終末	<p>4 今日の授業を振り返り、テーマについての考えを道徳ノートに書く。</p> <p>5 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いを生かして、授業を振り返って、テーマについて考えたことを書かせる。 ・この出来事の10年後の話をする。

5 他の教育活動等との関連

事前学習	帰りの会で、「他人の意見に流されたことはありますか。」について、生徒の実態を把握するためにアンケートを実施する。
本時の学習	・資料名「僕は出ない エースの決断」 自ら考え、判断して、誠実に実行する態度を育てる。
事後学習	「私たちの道徳」の「1自分をみつめ伸ばして (3)自分で考え実行し責任をもつ」を読み、その部分 (P22) を教室に掲示する。
家庭との連携	本時の授業内容や生徒の感想を学級通信で紹介する。家庭でも「私たちの道徳」P22～31を活用し話題にしてもらう。

6 評価の観点

〈生徒の学習状況の評価〉

- ・自ら考え、判断し、誠実に生きることの意義を理解することができたか。

〈生徒の道徳性に係る成長の様子の評価〉

- ・自分に誠実に生きようとする意欲が高まったか。

7 板書計画

「僕は出ない エースの決断」

アンケートの結果

重要な決断をするときに、大切にするのは、どんなことだろうか。

どんな気持ちから、「辞退しよう」「出場しよう」と思ったのだろうか。

辞退する側

- ・勝ったのは相手チームなのだから出るべきではない。
- ・フェアプレイが大切。

出場する側

- ・全国大会なんだから絶対に出たい。
- ・応援してくれている人の気持ちを無駄にできない。

(出場して欲しかった) 仲間、中田君をなぜ「おまえはおまえだからな。」と認めたのだろうか。

各グループの意見